

第2回リスクコミュニケーション講演会



中川 恵一 氏

東通村は、国策である原子力政策に協力するとともに、安全性の確保を大前提として、原子力との共生による村づくりを進めています。

しかし、福島第一原子力発電所の事故が発生してから、我が国のエネルギー政策は、数多くの課題が山積みし、今後のエネルギー政策のあり方が大きな議論となっています。

また、原子力災害が発生した場合における対応や体制なども大きく変更され、さらに検討が進められています。

原子力災害が発生した場合には、国・青森県・東通村を含めた防災関係機関が連携し対応することとなりますが、村民の皆さんにも、村などからの指示に従い、冷静に行動していただく必要があることから、村では、様々な対応をしていくこととしています。

今回は、放射線に精通されている中川恵一氏をお招きし、放射線の影響などについて、わかりやすく講演していただきます。

どなたでも参加いただけますので、皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

◎演 題：『放射線の影響』

◎講 師：東京大学医学部附属病院放射線科准教授 なかがわ けいいち 中川 恵一 氏

講 師 略 歴

東京大学医学部附属病院放射線科准教授、緩和ケア診療部部長。

東京大学医学部医学科卒業後、スイスのポール・シェラー研究所に客員研究員として留学。

著書は、『放射線のひみつ』（朝日出版社）、『自分を生きる』（養老孟司氏との共著、小学館）、『がんの練習帳』（新潮新書）、『専門医が教える がんで死なない生き方』（光文社新書）、『放射線医が教える 福島で起こっている本当のこと』（KKベストセラーズ）ほか多数。

日 時：平成28年3月13日(日) 13:30～15:00
会 場：東通村防災センター（東通消防署）1階会議室

【参加方法】

参加希望者は、次の連絡先に、電話またはFAX等で、氏名・地区名・連絡先（自宅TEL等）を添えてお申込みください。

※申込者多数の場合は、会場の都合等によりお断りさせていただくことがあります。

【問い合わせ・連絡先】

東通村役場 原子力対策課 電 話：27-2111 FAX：27-2501